

あなたに合うお仕事が見つかるかも？

福祉のお仕事

# 適職診断

簡単な質問に答えて、  
あなたにマッチする福祉のお仕事に出会おう。

適職診断では「性格」や「価値観」、「行動の傾向」をもとに、  
あなたにオススメの福祉のお仕事を紹介します。  
まずは気軽に診断して、お仕事探しの参考に使ってみてください。

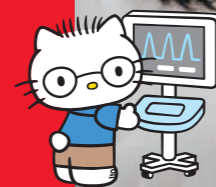
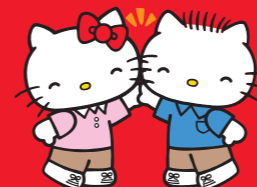



<https://www.fukushijinzei.metro.tokyo.lg.jp/hello-essential-work/#jobTest>

仕事選びのヒントが  
見つかるかも？

# あなたは、 何を重視して 仕事を選ぶ？

12人の仕事を選んだ理由・仕事のやりがいをご紹介





# わたしが 福祉の仕事を 選んだワケ

Why I chose welfare work



仕事の時間は、  
人生の約3分の1を占められています。  
大切な時間の多くを注ぐ“仕事”を選ぶ上で、  
あなたは何を求めますか？

誰かに貢献する仕事がしくて、  
自分の好きなことを活かして、  
安定した仕事がしくて。



さまざまな想いやきっかけで、  
福祉の仕事を選んだ12人をご紹介します。



## 一人ひとりの理想の暮らしに 寄り添いたい

学生時代、時給の良さから福祉業界でアルバイトを始めました。最初はネガティブなイメージを持っていましたが、利用者一人ひとりが理想の生活像を持ち、そのために職員が寄り添う姿に感銘を受け、そのまま就職を決意。現在はグループホームなどを運営する法人に勤めており、車いすへの乗降といった直接的な支援から、ご家族と離れて暮らしている利用者の事務的な処理などの間接的な支援も行っています。直接的な支援は自分の体を使って行うため、ケガ・転倒などのリスク管理には特に注意を払っています。福祉の仕事は、人生というマラソンと一緒に走る伴走者のような存在です。数字や成果では表せないからこそ、プロセスや支援の質に重きをおいて働いています。

熊谷 鴻太 | 生活支援員

社会福祉法人台東つばさ福祉会 フロム千束(障害者・福祉ホーム)

## 祖母を支えられる 自分になるために



一緒に暮らしていた祖母が高校生のときに足を悪くし、「祖母に大切にしてもらった分、介護が必要になったときは自分がお手伝いしたい」と感じたことが福祉の道に進んだきっかけです。特別養護老人ホームで介護度の高い方々の食事、入浴、排泄をはじめとする生活の支援が私の仕事。言葉でのコミュニケーションが難しい利用者もいますが、中でも表情や手の動き、視線などを通して感情が動いた瞬間を敏感に察知するようにしています。時にはお看取りに立ち会うこともあり、最期を迎えられた利用者のご家族から「この施設に預けてよかったです。ありがとう。」と言われたときは、胸がいっぱいになりました。福祉は利用者以外にもたくさんの人と出会え、心が暖くなる仕事です。

上村 那智 | 介護職員

社会福祉法人一誠会 特別養護老人ホーム 偕楽園ホーム(高齢者)



田中 莉菜 | 訪問介護員(ホームヘルパー)

株式会社ケアメイト 品川訪問介護事業所(高齢者)

## デスクワークではなく アクティブに働きたい

デスクワークではなくアクティブに働き、人の役に立ちたいとの思いでこの仕事を選びました。ヘルパーとしてご利用者さまのご自宅に訪問し、食事や入浴といった身の回りの生活を支援しています。ご自宅というご利用者さまのフィールドに入るため、基本的な接遇マナーは心を開いてもらう第1歩。元気な挨拶、清潔感のある身だしなみ、玄関では靴を揃えるなど礼儀作法に気を配っています。訪問介護のやりがいは、支援を通じたコミュニケーションをするうちに少しずつ、「あなたのおかげだよ」「面倒をみてくれてありがとう」と受け入れてもらえること。福祉は私たちスタッフだけでなく、ご家族さま、ケアマネジャー、医療従事者など多くの人が関わり合うことで成り立っている仕事だと思います。

## お世話をすることが 好きな性格から

人の面倒をみたり、お世話をすることが好きな性格から保育の仕事に就きました。昨日はできなかったことが次の日にはできるようになっているなど、1日1日子どもたちが成長する姿を間近で見られることが一番のやりがいです。さらに、イベントなどで保護者からいただける「成長した姿を見せてくれてありがとう」「先生のおかげです」の言葉も仕事の励みであり、お子様の子育てに関わり、保護者の手助けになれていることも嬉しいです。保育の仕事は子どもが相手なので、ルーチンワークではありません。日々ハプニングやトラブルもありますが、そのときは園のスタッフたちと一緒に相談し合いながら、子どもたちに目一杯愛情を注げる仕事です。



藤原 あみ | 保育士

社会福祉法人さくら福祉会 さくら保育園

## 視覚障害のおばあちゃんと 出かけた

私が生まれたときから重度の視覚障害のあるおばあちゃんと、いつか一緒に自信を持ってお出掛けをしたい。それが、ガイドヘルパーの仕事を始めたいきっかけです。ガイドヘルパーは、視覚障害者の外出時に、安全確保をしたり、目的地までの情報提供をしたり、同行援護したりすることが仕事です。利用者とは初対面で外出の援護をするため、目が見えない分、安心してもらえるように元気な挨拶を心がけています。アクティブな方も多く、時には一緒にジムに行くこともあります。自分が知らない世界に触れられるとワクワクし、やりがいにも。そして先日、ついにおばあちゃんと一緒にディズニーランドへ行きました。ガイドヘルパーの知識を役立て、自信を持って案内できました。

山本 雅 | 移動支援従事者(ガイドヘルパー)

株式会社おとも 同行援護事業所おとも(障害者)

